

PPAP廃止が加速中!

金融庁、PW付きメール送信の利用廃止を勧告

金融庁

Financial Services Agency

なぜ廃止?

- ✓ サイバー攻撃の手口として悪用されるケースが急増
- ✓ セキュリティ検疫をすり抜けるリスク
- ✓ サプライチェーン全体への影響が懸念

今、何が起きている?

- ✓ 金融庁・デジタル庁が利用廃止を強く要請
- ✓ 受信拒否する企業が増加
- ✓ 「PPAPを使わない」ことが新たなマナーに

企業に求められる対応

- ✓ まだPPAPを使っている企業は早急な見直しを!
- ✓ 「脱PPAP」は今や必須の対策に

被害拡大



パスワード付き添付ファイル

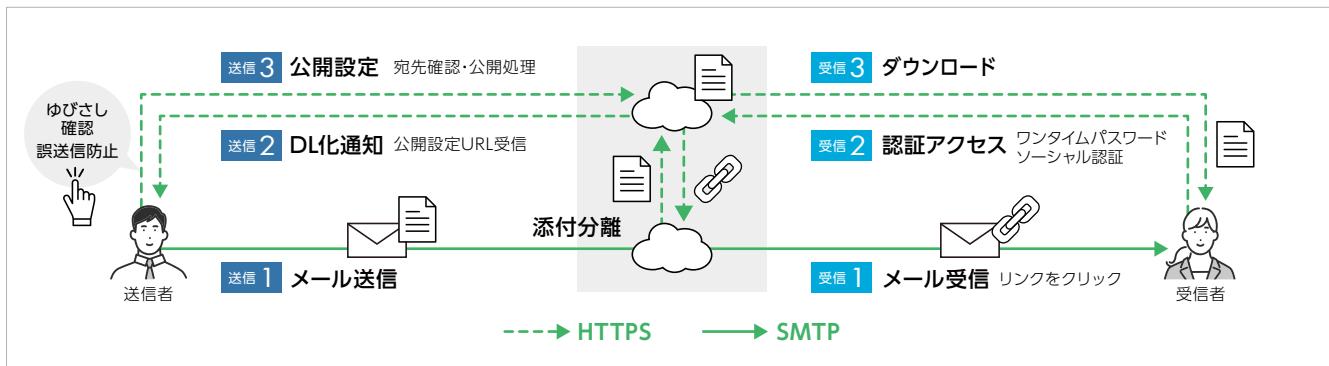
金融
だけじゃない

全業種に波及

まったくなし! 今すぐ対策を! GUARDIANWALL での対策方法とは?

GUARDIANWALLで解決！

添付ファイルダウンロードリンク化機能で安全に、簡単にファイル送信を実現！



添付ファイルを自動で分離し、安全な経路で送信が可能

ファイルは直接メールに添付されず、HTTPSの暗号化経路で、アップロード／ダウンロードリンク化するので漏えいリスクが低減

誤送信対策が充実

宛先・ファイル確認画面を指差し確認することにより誤送信を防止。宛先や件名による送信制御も可能

ワンタイムパスワードやパスワードレス認証に対応

有効期限付きのワンタイムパスワードや、パスワードレスのMicrosoft 365／Googleアカウントによる認証で、パスワード盗聴リスクを低減

公開停止・アクセス制御が可能

誤送信時には、管理画面からファイル公開の停止や、ダウンロード履歴の確認が可能

GUARDIANWALLが選ばれる理由

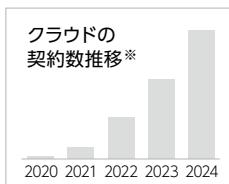
- 誤送信対策が充実 → 宛先・ファイル確認画面、公開停止機能
- パスワードレス認証対応 → 受信者の負担軽減＆安全性
- メール監査・アーカイブ^{*}の併用で情報漏えいを対策
- 国内開発・サポート → 安心のサポート体制
- 選べる3つの脱PPAPラインアップ

※(別売) メール監査: MailFilter on Cloud、アーカイブ: MailArchive on Cloud

導入実績

クラウド

誕生から5年。金融・製造・流通など
累計1,200社で採用



オンプレミス

580万ユーザー・累計4,000社で採用

※2025年1月時点のGUARDIANWALLセキュリティクラウドの累計契約数です。

選べる3つのラインアップ

1. MailConvert on Cloud プレミアム	脱PPAP、Bcc強制変換など	月額 200円／ユーザー ※50ユーザーから
2. MailConvert on Cloud ベーシック	プレミアムの機能を厳選、簡単設定	月額 150円／ユーザー ※10ユーザーから
3. Outbound Security for Microsoft 365	アドイン型で簡単導入	月額 100円／ユーザー ※10ユーザーから

※上記1、2は、Microsoft 365 (ExchangeOnline付プラン)、Google Workspaceのメールサービスのご利用が前提です。

※Outbound Security for Microsoft 365は、Microsoft 365 (ExchangeOnline付プラン)のご利用が前提です。

まずは30日間の無償トライアルをお試しください！評価時の設定支援も実施中！

※Microsoft、Microsoft 365、およびExchange Onlineは米国 Microsoft Corporation の、米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。

※Google Workspaceは米国 Google LLC の、米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。

記載されている商標および仕様に関しては予告なしに変更する場合がございます。

製品に関する情報はこちらでご確認いただけます。



<https://canon.jp/biz/solution/security/it-sec/column/guardianwall/ppap-solution>

●お求めは信用のある当社で

Canon キヤノンマーケティングジャパン株式会社

〒108-8011 東京都港区港南2-16-6 CANON S TOWER

2025年11月現在

GPK2511CMJ-PDF